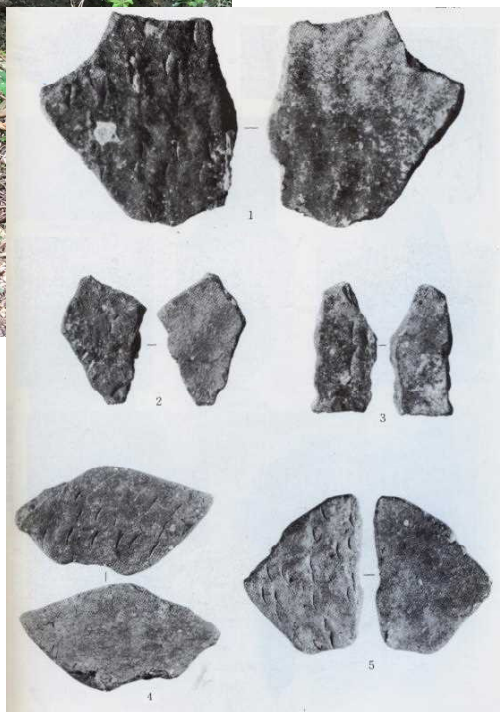
【県指定・史跡】

中甫洞穴（なかふどうけつ）

（平成30年４月20日指定）



爪形文土器

○　**所在地**　　大島郡知名町久志検水窪662番地

○　**所有者**　　原　佑造　氏

○　**特　徴**

中甫洞穴は，沖永良部島の鍾乳洞の開口部に形成された縄文時代の遺跡で，これまでの発掘調査により奄美群島の最古級の土器である爪形文土器（つめがたもんどき）が初めて発見されるなど，奄美群島の考古学研究において極めて重要な遺跡です。

また，縄文時代早期後半から前期前半以降，断続的に遺跡が形成され，当時の人々が洞穴を生活の場や墓域として利用していたことを示す遺跡として貴重です。